

2019年8月21日

各位

会社名 日本サード・パーティ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森 豊  
( JASDAQ・コード 2488 )  
問合せ先 取締役コーポレート本部長 伊達 仁  
( 電話 03-6408-2488 )

## 日本サード・パーティ、クラウド運用サービス「Kyrios」を提供開始 ～インスタンス毎の課金で利用可能な運用で、クラウドサービスの活用を加速～

日本サード・パーティ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 豊、以下：JTP）は、クラウドサービス利用者向けの従量課金型運用サービス「Kyrios（キリオス）」（以下、本サービス）の提供を、2019年8月21日に開始すると発表いたしました。

### ■サービス概要

本サービスは、クラウドサービスの稼働に必要な運用を、インスタンス単位の料金体系により、スケールに合わせて利用することが可能なサービスです。

### <サービス提供内容>

監視・トラブルシューティング / ID管理 / バックアップ・リストア / 変更管理・コンフィグ変更 / 問題管理・分析 / キャパシティ管理 / 業務改善 / 標準レポート作成 / 手順書作成 / セキュリティパッチ管理・適用 / ベンダーエスカレーション

※利用レベルに応じ、3段階の料金体系を用意しています。

### ■サービスの特長

#### (1) インスタンス単位の課金

クラウドベースのシステムの活用が一般的になる一方、運用は、人月単価ベースの従来型が多いことが現状です。本サービスは、パブリッククラウドのように、インスタンス単位で利用できる運用サービスであり、システムのスケールに合わせた運用で、コスト効率を最大化します。

#### (2) 非定型業務や手順書外作業への対応

クラウドサービスの利用ハードルが下がった一方で、運用までを想定されていないケースも多く、実際の運用の場面になり、問題が発生し、対応に追われる担当者が多い現状があります。JTPは、これまで多くのエンタープライズ環境の運用を手掛けてきたノウハウを活かし、手順書や依頼内容に沿った運用のみならず、想定していなかった運用上の課題の定型化、手順書のアップデートなどへの対応も、標準のサービス範囲で提供しているため、担当者の負担を大幅に軽減します。

### (3) クラウドのサービスアップデートに対応

アップデートの多いクラウドサービスは、仕様の変更や、新サービスの活用によって、より効果的にシステムを活用できることがあります。JTP では、クラウドサービスの動向を常にチェックしているため、運用最適化のご提案をすることができます。

本サービスは、すでに構築済みのアーキテクチャへの対応の他、運用を想定したシステムの設計・構築からのワンストップサポートの提供をいたします。

詳細は、下記の Web ページをご確認ください。

<https://www.jtp.co.jp/services/ict/kyrios/>

今後、本サービスの拡販を通し、クラウドに最適化した運用の利用を可能にすることで、お客様の積極的なクラウドサービス活用をサポートしてまいります。

#### **【日本サード・パーティ株式会社について】**

日本サード・パーティ株式会社(JTP)は、日本に進出する海外の IT ベンダーやライフサイエンスメーカー向けに、テクニカルサービス、ヘルプデスク、トレーニングなどの技術サービスのアウトソーシングを提供する会社として、1987年に設立されました。2016年以降は、ミッションに「Connect to the Future」を掲げ、ベンダー・メーカーのみならず、幅広い企業のニーズに対する IT サービス提供へと事業を展開しています。

#### **【本リリースに関するお問い合わせ】**

日本サード・パーティ株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-6408-1688 FAX : 03-6859-4797

E-mail : [pr@jtp.co.jp](mailto:pr@jtp.co.jp)

以上